



みどり市
市制施行10周年記念事業の記録


ふるさと
～みどり市はぼくらの故郷 10周年～

みどり市はぼくら



 OFFICIAL CHALLENGE みどり市市制施行10周年記念事業
花ばんクリスマス

花ばんで
ギネス世界記録®
2016.12.23  達成!

 OFFICIAL CHALLENGE

記録名
Longest line of ca
みどり市の達成記録
17
現在の世界
2014年11月1日

ふるさと の故郷10周年



花ばんで
ギネス世界記録®に挑戦！

cakes (最も長いケーキの列)

記録
706.78 m

記録
1,604.75m

ギネス世界記録挑戦「花ぱんクリスマス」
平成28年12月23日（金・祝）P22

ご挨拶



みどり市長

石原 条

みどり市は、新田郡笠懸町、山田郡大間々町、勢多郡東村が合併して群馬県で12番目の市として誕生し、平成28年3月27日、市制施行から10周年を迎えました。

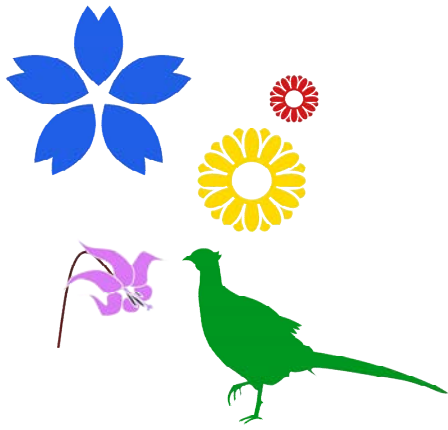
この10年、「輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市」を市の将来像として掲げ、市民の皆様とともに、一歩ずつまちづくりを進めてまいりました。

昨年、市制施行から10年という節目を迎えたお祝いと、この先の10年を考える契機として、「みどり市はほくらの故郷(ふるさと)10周年」をキャッチフレーズに、市民の皆様と市制施行10周年記念事業に取り組んでまいりました。この間、市民提案事業、市主催事業ともに地域の特色や魅力を取り入れた活力溢れる取組が数多く生まれ、多くの人と人がつながり、みどり市の更なる飛躍の年となりました。また、市民の皆様のみどり市に対する思いや愛着を改めて実感するとともに、みどり市がこれから将来にわたって大きく成長していく足掛かりになったと確信しています。

この度、数々の記念事業を「みどり市市制施行10周年記念事業の記録」として取りまとめましたので、笑顔溢れる事業風景とともに振り返っていただければ幸いです。

今後も、みどり市の輝かしい未来をしっかりと築いていくため、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、本記念事業にご協力・ご参加していただきました全ての皆様に厚く御礼を申し上げ、挨拶といたします。



目次

ご挨拶

02市制施行10周年記念事業の目的

04記念式典

06市民提案事業

18市主催事業

24その他

27市制施行10周年記念事業を終えて

29資料編

市制施行10周年記念事業の目的

みどり市は、平成18年3月27日に2町1村の合併によって群馬県で12番目の市として誕生し、平成28年3月27日に市制施行から10年を迎えました。

この10年の節目を市民の方々と一緒になって民官一体でお祝いすることで、みどり市の魅力を市外により一層PRするとともに、様々な地域や業種の人達が連携して市全体で活力ある取組が数多く生まれ、今後更なる成長と発展を遂げられるよう、以下の4つを目標に記念事業を実施しました。

- (1) みどり市がますます活気づくきっかけとなる。
- (2) 地域、業種や年代を越えて多くの人と人がつながる。
- (3) 将来みどり市で暮らす人々のために行う。
- (4) みどり市の魅力や資源を市外にアピールする。

市制施行10周年記念事業の分類

市民提案事業

市制施行10周年を市民の方にも一緒にお祝いしていただくため、広く記念事業を募集しました。

■募集分類／

単独	事業費の補助（10/10、上限100万円）、冠名義・ロゴ使用
共催	事業費の補助（1/2、上限50万円）、市職員の協力、冠名義・ロゴ使用
冠	冠名義・ロゴ使用

市主催事業

実行委員会を立ち上げ、若手職員を中心にプロジェクトチームを組織するとともに、庁内で公募した事業案の中から実施するものをプロジェクトチームで選定し、事業として立案しました。

■実行委員会／

副市長、教育長、部局長12人

■プロジェクトチーム／

係長以下18人（各部3人ずつ）

その他

市共催でプレイベントを開催したほか、市制施行10周年を広くPRするため、広報物を作成して掲示等しました。

市制施行10周年記念事業全体を盛り上げ、よりPR効果を高められるよう、キャッチフレーズとロゴマークを募集し、以下の作品を採択いたしました。

- 募集期間／平成27年6月1日（月）から同年7月31日（金）まで
- 募集対象／キャッチフレーズ（市内在住、在勤、在学の人）
協働ロゴ（市内在住、在勤、在学の人）
連携ロゴ（桐生大学アート・デザイン学科の学生）

市制施行10周年記念キャッチフレーズ

みどり市はぼくらの^{ふるさと}故郷 10周年

考案者／志田貴志生さん（市内在住）

やわらかい表現で多くの方々に親しみやすいフレーズ。「ぼくら」という言葉には男性も女性も含まれています。故郷と書いて「ふるさと」と読む言葉には「みどり市に住んでいる子ども達が将来もみどり市を誇れるように」という想いが込められています。

市制施行10周年記念ロゴマーク

協働ロゴ



考案者／茂木克浩さん（市内在勤）

市章の3本の木をイメージし、右に行くにつれて大きくなる木の姿が、今後みどり市が発展・成長していく姿を表現しています。

木の根元にみどり市の頭文字をとった「m」をアーチ状にデザインし、3つの木が手を取り合っている様子と、未来への架け橋という意味をシンプルながら力強いイメージで表現しています。

連携ロゴ



考案者／小林ひかりさん（桐生大学※）

※応募当時

葉の成長をモチーフに、みどり市の誕生から10年の成長を、葉の成長で表しています。右上がりに伸びていく葉に、今後も右上がりの成長への願いが込められています。

黄色の「10」という数字が、明るく、希望を感じるイメージを表現しています。